

令和 6 年度事業計画書

社会福祉法人稲泉会

令和6年度事業計画

I. 経営理念

- 一、 人権を尊重します。
- 一、 コンプライアンスの徹底を図ります。
- 一、 「笑顔に勝る介護なし」をモットーにサービスの向上を図ります。
- 一、 地域の交流を大切に、常に連携を図ります。
- 一、 将来とも安定した介護保険事業の展開を目指し人的・財政的基盤の確立と安定化に努めます。

II. 基本方針

当法人の経営も新型コロナウイルス感染症による休止や物価高騰による経費の増など依然厳しい状況に置かれております。この状況に置いても、地域における高齢者福祉の拠りどころとして一人ひとりが尊重され、安心と生きがいをもって生活できるサービスの提供を実践していかなければなりません。

令和6年度は、将来の特養の建て替えに備えた財政の安定化を重点に置きつつも、全ての事業所が「質の高いサービス」を提供するとともに、職員一人ひとりがその担い手として思いやりと優しさを以ってサービスの提供に努めて参ります。また、昨年度導入された介護ソフトの変更により業務の効率化を進め一人ひとりに寄り添い、「思い」や「気づき」を大切に、より良いケアの向上に努めて参ります。

財政の安定化については喫緊の課題であります。法人全体の事業所において、数値目標を達成するため稼働率への取り組みや経費の削減に取り組み財政の安定化に努めて参ります。

そして、依然収まらない大きな災害や新型コロナウイルス感染症の拡大は大きく経営を悪化する要因となります。その対策としてBCPの研修を通して事業が継続して提供できるよう進めて参ります。

社会福祉法人の取り巻く環境は、より厳しい状況となっております。そのような状況であっても地域の福祉を支える担い手として、一人ひとりが尊重され、安心と生きがいのある地域の一役を担っていけるよう、各関係機関と連携を深め役職員一同取り組んで参ります。

Ⅲ. 重点目標

- | |
|---------------|
| 1 人材の確保・育成 |
| 2 経営ガバナンスの強化 |
| 3 中長期計画の推進・検証 |
| 4 サービスの質の向上 |
| 5 災害・感染BCPの推進 |
| 6 公益的取組の推進 |

Ⅳ. 重点目標に向けた取り組み

1. 人材の確保・育成

職員配置の適正化を進めながら、引き続き新たな採用を進めるため、高卒、専門学校卒、大卒とそれぞれへのアプローチを行い、新卒採用を積極的に進めて参ります。

また、職員の資質の向上に向け導入しているWEB研修教材の活用を促進して参ります。

人事評価と共に職員面談（年2回）の実施及び業務改善提案などの仕組みを作り、職員一人ひとりが経営に参画しながら定着と離職防止に努め働きやすい職場づくりを進めて参ります。

2. 経営ガバナンスの強化

自律的で適正な法人運営を行うため、理事会・評議員会の内部統制機能の強化、監事監査の実施を行って参ります。また、業務執行の役割を分担し、担当制による経営執行体制を図って参ります。

(1) 理事会・評議員会による内部統制の強化

項目	内容	具体的取組
理事会の開催	定期開催	6月、9月、12月 3月
	随時開催	必要に応じて随時
評議員会	定期開催	6月、3月
監事監査	内部監査	5月、8月、11月、2月

(2) 理事会・評議員会研修会・意見交換会の開催

項目	内容	具体的な取組
理事・監事研修会	・事業の進捗状況や財務状況の共有と 社会福祉法人の取り巻く環境について	10月

評議員会研修会	・法人の課題・取組状況について	11月
---------	-----------------	-----

3. 中長期計画の推進・検証

令和5年度に策定した中長期計画に基づき、進捗状況や新たな課題について検討するため、中長期策定推進委員会を設置し、策定後の継続的な検証体制を作ります。

項目	内容	具体的な取組
中長期策定推進委員会	・中長期計画策定後の進捗状況や検証 ・新たな課題への取り組み	9月・2月

4. サービスの質の向上

(1) ケアの質の向上

法人の理念「笑顔に勝る介護なし」を職員一人ひとりが体現し、地域から求められる稲泉会職員像を目指して、入居者・利用者のケアにあたっては、事業所全体が利用者主体の原点に常に立ち、入居者・利用者の生活の質の向上に取り組んで参ります。

また、ICTの導入により、データを基にケアの根拠を明確にし、生産性の向上に取り組んで参ります。

(2) 家族との信頼関係

利用者家族との関係を深めていくために、情報提供を行うとともに、要望等に対して真摯に対応して参ります。

また、苦情やご意見は各事業の質の向上に資するものと捉え第三者委員会における助言も得ながら信頼関係を深めて参ります。

(3) 地域との連携

各関係機関との連携に努め地域の公共財としての役割を果たして参ります。地域への感謝と、地域を大切にしたいの思いを持ち、法人経営に取り組む姿勢を持ち続けます。

5. 感染・災害BCPの推進

感染及び災害時における業務継続計画を推進するため、法人に事業横断的な委員会を設置し、事業継続計画の着実な実行の為、研修会の開催及び

訓練の実施を進めて参ります。

感染・災害BCP推進委員会	6月・8月・10月・12月・2月
---------------	------------------

事業所	研修	訓練
特養・グループホーム	年2回	年2回
デイ・居宅支援事業所	年1回	年1回

6. 公益的な取組の推進

(1) IWATE安心サポート事業

福祉的課題を抱える方の自立を支えるため各行政・関係機関等と連携し、日常の困りごとの解決に貢献して参ります。

V 修繕・改修計画

計画名	内 容
建物経年劣化に対する対応	ボイラー修繕工事 400,000円 その他随時対応

令和6年度年間実施計画

月	実施内容
4	・辞令交付式（年度初め）
5	・法人内部監査
6	・理事会（定例） ・定時評議員会 ・職員面談（第1回）
8	・法人内部監査
9	・理事会（定例） ・法人各事業所敬老会
10	・理事・監事研修会
11	・法人内部監査 ・評議員会研修会
12	・理事会（定例） ・職員面談（第2回）
1	・仕事始め式
2	・法人内部監査
3	・理事会（定例） ・定時評議員会

社会福祉法人稲泉会 運営組織図

